

無書燈

MUJINTO

No.149

2024

特集

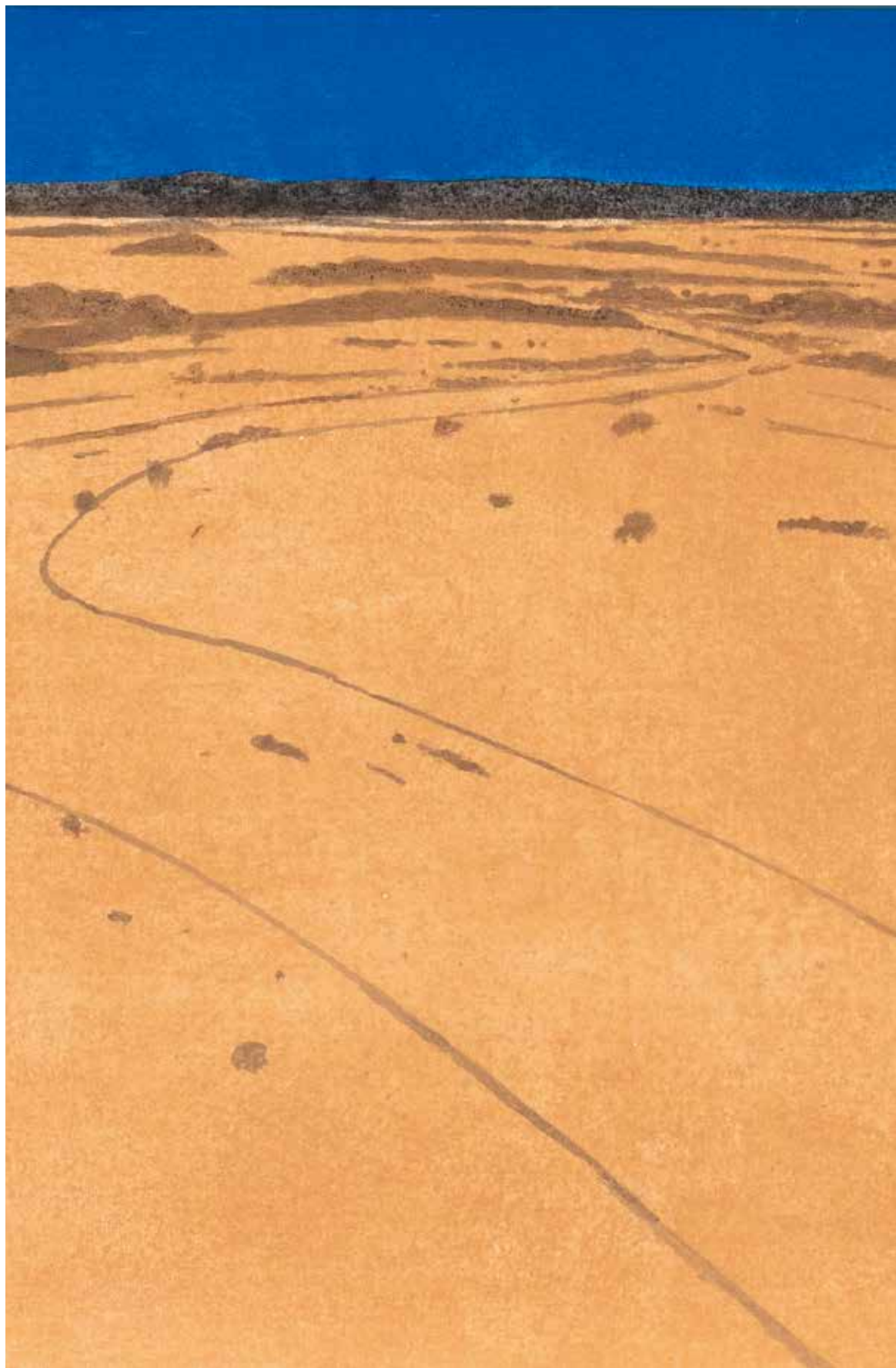
● 輝く☆同窓生

「笑顔」を生み出す起業家へ

—心が変われば行動が変わる。活気あふれる職場づくり—

● 大谷大学と私

沙加戸 弘 名誉教授



大谷大学同窓会

「笑顔」を 生み出す起業家へ 心が変われば行動が変わる。 活気あふれる職場づくり



株式会社絆 代表取締役

ちょう くに はる
丁 邦 治さん (1999年度・文学部文学科卒)

株式会社FUNE CEO代表取締役

きた べ ゆう ち
北 辺 佑 智さん (2013年度・文学部歴史学科卒)



輝く同窓生



— 今回の「輝く☆同窓生」に、お二人の同窓生にお越しいただきました。お二人は「起業家」であり、「就労継続支援事業所(※)」の運営をされているという共通点があります。今回は、大谷大学での学びや現在の仕事に活かされていること、今後の展望についてお話を伺いたいと思います。

丁 高校は野球部で甲子園に出場することができ、大谷大学でも野球をしながら「文学」を学ぼうと入学しました。学生時代、焼肉店のアルバイトでの接客が楽しかったため、卒業後は飲食店に就職しました。

起業を意識したのは、就職先での愚痴を父親にこぼし、「愚痴を言うなら自分でやるべき」と叱咤された時です。

その後、起業はできましたが、当初は「自分がやった方が早い」と社員に仕事を任せられず、社員が辞めたらその人のせいにするなど、うまくいかない時期が続きました。

そんな中、私自身が変わったのは、「就労継続支援A型事業」を始めてからだと思います。2013年にお弁当のデリバリーを始め、業績は順調に伸びていった反面、育児を任せきりだった妻が体調を崩してしまいました。

(※就労継続支援事業)

A型…雇用契約を結び利用する福祉サービス(最低賃金が保障される)

B型…雇用契約を結ばずに利用する福祉サービス(労働時間の縛りがなく負担を少なくできる)

このままではいけないと思っていた時、ある経営者の方に障がいのある方たちがお弁当作りの仕事をされている事業所を紹介いただき、衝撃を受けたんです。そこから、誰かのために仕事がしたいと思い、2018年に「就労継続支援A型事業所」の「株式会社 絆」を立ち上げました。「自分のことばかり」から「相手のことを考える」ようになったのがこの頃です。

— 障がいのある方を実際に雇用して、どのような変化があったのでしょうか？

丁 「自分の当たり前が相手の当たり前ではない」ということに気づき、相手の考えを受け入れ、自分の考えをどう伝え、理解してもらうかに注力するようになりました。

また、社員や利用者さんへは他人と比べるのではなく、自分がどんな幸せな人生を送りたいのかというのを考えて欲しいと伝えるようにもなりました。理念やビジョンを語り続けていくと、徐々に変化してくださる方が出てきて、それが私の自信にもなりました。まずは自分が変われば周りも変わるのだと思います。これにより離職率も下がりましたが、より働きやすく、やりがいを感じる会社にしていきたいと考えています。

— 自分の当たり前が人の当たり前ではないとはおもしろい



すね。大谷大学で学ばれた内容が長い時間をかけて染み込んでいくような、まるで仏教のお話のようです。

続いて、北辺さんに伺います。

北辺 大谷大学の4年生の時、貧困の地域に興味があったのでミャンマーやベトナムなどのアジアを中心に旅をしました。そこでNPO法人の方にタイのコーヒープロジェクトを手伝って欲しいと声をかけられたことがありました。そこではすごくおいしいコーヒーが採れるのに売り方がわからない、それで悪質なバイヤーに買いたたかれる現状を何とかしたいとのことでした。興味はありましたが、その時は行動にはつながりませんでした。

卒業後は生協に就職し、働いて2年目の頃、休暇をとって前述のNPO法人の方とタイに行ったのですが、その時、現地の方に「直接、豆を買って欲しい」とお願いされたんです。ふたたびコーヒーの件で声をかけていただいたので、「少し当たってみます」と帰国し、休みの度に色々なコーヒー屋さんを回りました。すると、想像以上に買ってもらうことができました。その後、小型の焙煎機をボーナスで買い、焙煎した豆を売れるものにしようと、この頃から起業を意識し始めました。

— 学生時代から海外志向だったのですか？

北辺 東南アジアはたぶん全部行きました。発展途上の国にはエネルギーがあり、好きなんです。

— ところで、北辺さんはコーヒー焙煎所「京都珈琲焙煎所 旅の音(ね)」を創業されていますが、当初はどのような状況だったのでしょうか？

北辺 創業当初は、簿記もアルバイトの雇用方もわからず、初めてのことばかりでお客さんも来ず、赤字続きで資金も減る一方。もうこれで終わりだという時、ある雑誌に取り上げてもらったことから、徐々に常連客も増え、なんとか黒字化することができました。

— その後、「起業支援事業」を展開されていかれますが、障がいのある方の雇用についてはどのような接点があったのでしょうか？

北辺 2020年に「旅の音」を法人化し、採用も行うように

なりました。障がいのある方からの問い合わせもありましたが、それまで福祉に馴染みがなく、お断りするケースがほとんどでした。そんな中、採用した方の中に耳に障がいのある方がいて、焙煎の仕事をしてもらったのですが、その方はすごく鼻が良いのです。それが強みになり活躍してくれて、「障がいのある自分が好きな仕事で働けるのは本当に夢みたいですよ」と言ってくれたのです。今まで断った方も皆そう思っていたのだろうと衝撃を受けました。そこで私に何ができるかを考え、就労支援でコーヒーを扱っている全国の事業所を見て回ったんです。すると、生き生きしている事業所とそうでない事業所の差があることに気づきました。好きなことに関わり、環境が良いところは皆笑うのです。利用者さんも笑うし社員も笑っています。なので、自分たちもせっかくコーヒーという専門的な仕事をしているのだから「製造」とか「焙煎」、「バリスタ」など色々なセクションに分けて「好きな分野」で働ける仕組みを創れたらいいなと思って「就労支援B型事業所」の「たびのね」を始めました。

— 今のお話を伺って、丁さんも共感される部分があるのではないですか？

丁 ありますね。A型とB型の違いはありますが、障がいのある方に対するケアや、その人の良いところを見つけるといことは一緒だと思います。「好きなことを仕事にできる」ということ、そこが私たちの本当の支援なのかなと。

北辺 丁さんの「人との向き合い方が変わった」ということにすごく共感できました。これで「人になれた」というか、欲の塊が剥がれていく感覚を久々に感じました。

— 「人になれた」、おもしろいポイントですね。

仏教だと「食欲」という悪い欲と「意欲」という良い意味の欲と分けるのですが、お二人ともやはり「意欲」がどんどん湧き出ている状態ですね。起業家の視点から見て、幸せな生き方とはどのような生き方でしょうか？

丁 私が思うのは「ありがとう」であったり、笑顔を見せてくれたり、私が楽しいからやっているのですが、社員や利用者さん、その親御さんから「ありがとう」や

「本人が生き生きして仕事に行っています」ということを聞くと、やっていて良かった、これが私のやっていく仕事、私の幸せだと思っています。

— 北辺さんはいかがですか？

北辺 丁さんの意見にリンクしますが、私の理念は「マイナスをプラスに」です。障がいや貧困など悩みや課題がある人に私の会社に入ってもらってプラスのスパイラルに乗ってもらえるような環境にしていきたいと思っています。それが実現した時がやって良かったなと感じるところで、「ありがとう」と返ってくるのです。「こんな感じに自分が変われるとは思わなかった」という声がもらえるのは嬉しいので今後もこれを軸にしていきたいと思います。

— お二人とも「人が好き」という様子がよくわかります。お二人の在学時の大谷大学には「人間が大好きです。」というキャッチコピーがありました。学生時代のことをお伺いしたいと思います。

丁 毎日、大学は楽しかったです。指導教員は石橋義秀先生だったのですが、大学では野球しかしていませんでしたので、正直勉強は苦手で、先生には心配をかけました。

私は人前で話すのも苦手だったのですが、先生からよくゼミの皆の前で話をするよう指導いただき、人前で話す経験を積むことで、今日のインタビューなどにも対応できるようになりました。今思うと、ジャージで野球部のカバンを枕に寝ていたりもしていたので、居眠りさせない目的で「何かしゃべって」と言われたのだろうと思います。

あとは、死生観といえますか、もし私が明日にでも死んだとき、社員や利用者さんが路頭に迷わないようにしないといけないと思いながら仕事をしています。学生のときは理解できていなかった死生観が今になって生きているようです。



北辺さん卒業式の様子(前列左)

— 北辺さんはいかがですか。

北辺 在学中はフォーク研究会に所属し、3年生の時に部長をさせてもらいました。部員にはいろんなタイプの人っていて、問題が起きる度に耐性もつきましたし、多くのことを経験させてもらいました。

ゼミに関しては、あまりまじめな学生ではなく、指導教員の川端泰幸先生からお叱りを受けたのはよく覚えています。私は実家が寺院なので、歴史学科の科目と真宗系の科目の両方を学ぶことができたのはとても貴重な経験でした。それまでも自坊でお勤めはしていましたが、大学で経典や仏教の意味や歴史を深く学ぶことができたのは嬉しかったです。なのでインドやネパールの仏教が伝播した地域を旅するのも好きなんです。もっと歴史を学んでおけばと今になって思います。

— 最後に、お二人が手掛けている会社・事業所の今後の展開に関してお聞かせください。

丁 私の会社は「就労継続支援A型」で障がいのある方たちの自立支援の事業をメインとしています。現在、事業所には35名の障がいのある方たちがおられますが、それぞれに支援の仕方が異なります。就労支援後に一般企業に就職したい方もいれば、身体が動く限りこ

■ 株式会社 絆 京都市右京区西院東貝川町5 ☎075-748-0022 <https://kizuna2010.com/>

▲ 主な事業内容 福祉事業(就労継続支援A型事業所) 飲食事業

| | | | |
|--------------|------------------------|----------|---------------------|
| 【沿革】 2018年1月 | 株式会社絆設立 | 2020年4月 | リフォーム事業開始 |
| 2018年12月 | 障がい福祉事業(就労継続支援A型事業所)開所 | 2021年1月 | ベビーカステラ専門店開店 |
| 2019年1月 | 内職請負事業開始 | 2022年3月 | 農福連携への取り組み開始 |
| 2020年3月 | ものづくり事業(レジン工房きずな)開始 | 2023年1月 | 就労支援A型事業所へのサポート支援開始 |
| 2020年4月 | スーパー惣菜製造・販売開始 | 2023年12月 | 宿泊事業開始 |





■ **株式会社 FUNE** 京都市上京区亀屋町60 メールinfo@fu-ne.co.jp https://fu-ne.co.jp/
 ▲ **主な事業内容** ベンチャー・スタートアップの総合支援、福祉施設の運営及びコンサルティング、ブランディング・マーケティングの支援、デザイン

| | | | | |
|-------------|----------|--|----------|----------------------------|
| 【沿革】 | 2017年 2月 | 珈琲焙煎所旅の音(たびのね)オープン | 2022年10月 | 代表退任 顧問職就任 |
| | 2019年 | 一坪の珈琲店「MAMEBACO」を2020年オープンしFCとして全国で4店舗展開 | 2023年 1月 | 株式会社FUNE設立 |
| | 2020年 | 株式会社タビノネ設立 | 2023年11月 | 起業家を支援する投資付きインターンシップ制度募集開始 |
| | 2021年 | 就労支援施設たびのね(就労継続支援B型事業所)開設 | 2024年 2月 | 滋賀銀行ビジネスモデルコンテスト野の花賞 特別賞受賞 |

で働きたいという方もおられます。その方の居場所作りを大切にしていきたいと考えています。起業当初はお弁当作りがメインで、お弁当作りが難しい方は辞めていくことがありましたが、このままでは何の取り柄もない会社になると思い、福祉らしくない会社を創りたいと考えました。そこで、社員や利用者さんがしたいことをヒアリングしてできた事業に「レジアクセサリー」があります。趣味だったものを仕事として作り、売り方を私が考えるという話から始まりました。アクセサリーは催事や区役所などで販売し、同時にデザインが好きな方が名刺やチラシ作成をするようになりました。やりたいことや思いを事業にすることは経営者である私の仕事です。社員や利用者さんは好きだからスキルアップもしますし、生産性も収益も上がります。お金を儲けに行くのではなくてやりがいを作ることで収益があがるという仕組みができました。リフォーム事業やチラシのポスティングなど、みんなやりがいをもって「あなたたちの仕事には大切な意味がある」ということを伝えながらやっています。必要なことを事業にして、その方たちの喜びに変えていくということは、私はこれからも変わらないと思います。いろんな事業をやっているのだから、友達から「何屋をしているの」と言われることがありますが、「俺は福祉屋やで」と答えています。

— 北辺さんはいかがですか。

北辺 私自身も本当にコミットしたいところは福祉です。もう一つは「起業したい人」の成長を支援していくことです。

これまでに私が経営に携わってきた就労支援施設は4か所ありますが、支援を必要としている会社や地域は沢山あります。加えて、仕事はあるけど人手不足で困っている、就労支援施設に興味があるけどやり方がわからないという方のために、2023年に「起業支援事業」と「B型支援施設のプロデュースと運営支援」を行う「株式会社FUNE(ふね)」を立ち上げました。起業のためのサポートを日本各地で行い、この縁をいろいろなとこ

ろにつないでいきたいと思っています。

また、「FUNE」では、インターン制度を設けていて、1年間のインターン後に1年間就職、その後に独立するというパッケージを作っています。合計2年間来てもらった方には、起業などの際に300万円を出資するなど、熱意のある人にはチャレンジする機会を作りたいと考えています。現在、インターンで2人が来てくれていますが、この2人が2年後に起業家として育っていったらうれしいと思います。

丁 おもしろい！すごいな。



滋賀銀行ビジネスモデルコンテスト「野の花賞 特別賞」受賞の様子

— これからますますお二人が活躍なさっていくことがわかる対談でしたし、大谷大学としてもお二人のような卒業生を持てたということは大きな誇りです。これからも大谷大学との縁を結んでいただきたいと思います。長時間、ありがとうございました。



インタビュー(写真右) 無盡燈編集委員 上野 牧生(大谷大学准教授) 対談日 2024年2月

大谷大学と私



名誉教授
沙加戸 弘

本願に帰す

しかるに愚禿釋鸞 建仁辛の酉の曆 雑行を棄てて
本願に帰す

これは、親鸞聖人がその主著『顕浄土真実教行証文類』の最後に記された文の一部です。山を出て六角堂の聖徳太子のお示しによって法然上人の御許に参上、本願念仏に遇われた時の何にも替え難い聖人の喜びと感動がひしひしと伝わってきます。

「帰」という字の旁は、「ヨ」、「冫」、「巾」です。由来は、「ヨ」は「女」、「冫」は「家」、「巾」はその形からわかりますように「筭^{ほうき}」です。3000年前の中国の感覚ですが、女の人が家の中で掃除をしている、言ってみれば居るべき人が居るべき場所ですべき仕事をしている、という字で、本来のあるべきかたちにたどりついた、最終目的が明らかになった、という意味を表す字です。

昭和44年春大学を卒業し滋賀県のとある小学校に教諭として赴任致しましたが、様々の事情によってわずか2年で棒を折り、私は改めて大谷大学の門をくぐりました。

今から思えば、この時感じた安堵感はそれまで経験したことのないものでした。敢えて言葉にすれば、「あ、私はここへ来たかったのか」、「ここへ来るのが本当だったのだ」とも言うべき安堵感でありました。

この大学で、多屋頼俊、山本唯一両先師の講筵^{こうえん}に列し、この国の感動の歴史の土台に仏法があり、それが文化の中に具体化されていることを明確に認識することができました。

聖人と私とを同列に論ずるは如何なものかと思いますが、私の「浄瑠璃」という芸能の研究は、この大学で仏法という根幹を得て大きな枠組みを持つこととなったのです。

一例を挙げれば、寛文12(1672)年の秋、京都の書肆鶴屋喜右衛門・八文字屋八左衛門が、親鸞伝に關わる浄瑠璃の正本(上演と同時に発売される上演作品の台本)の刊行を廻って東本願寺と行き違いを起しました。

「平太郎記板行一件」と名付けられたこの事件は、それまでの東本願寺の『粟津家記録』によってのみ考察され、視野と状況把握に不足の感がありました。『粟津家記録』は、後に編集された件別の記録で、これとは別に日を逐って記録された『粟津日記』が存在しています。度々の火災によって、欠けた年次が多くありましたが、幸い寛文12年分が現存し、それを確認することができました。これによって、この「平太郎記板行一件」の全容が解明できたことは、私の研究の一つの大きな区切りであったと考えています。

総じて日本の文化は、度来した仏法の具体化、生活化です。今を時めく超高層の建物でさえ、本造の塔の研究なしには生まれなかった、と聞き及びます。

まさしく大谷大学は、日本文化の研究の土台となるべきところ、出発点となるべきところと確信します。そして何よりも私の帰するところでありました。

略歴紹介

さかど ひろむ
沙加戸 弘 名誉教授

1946(昭和21)年 9月 滋賀県に生まれる
1969(昭和44)年 3月 滋賀大学教育学部卒業
1973(昭和48)年 3月 大谷大学大学院修士課程修了(仏教文化)
1976(昭和51)年 3月 大谷大学大学院博士課程満期退学
(仏教文化)

1986(昭和61)年 4月 大谷大学講師
1991(平成 3)年 4月 大谷大学助教授
1999(平成11)年 4月 大谷大学教授
2000(平成12)年11月 大谷大学 博士(文学)<学位取得>
2012(平成24)年 4月 大谷大学名誉教授

2000(平成12)年 4月～2002(平成14)年 3月 大谷大学図書館長
2004(平成16)年 4月～2006(平成18)年 3月
大谷大学真宗総合学術センター長
2004(平成16)年 4月～2006(平成18)年 3月 大谷大学図書館長

【専門】

国文学(近世演劇・近世仏教芸能・近世仏教文学)

【著書・論文】

『親鸞聖人 御絵伝を読み解く』(単著・法蔵館 2012年)

『真宗関係浄瑠璃展開史序説 - 素材の時代』

(単著・法蔵館 2008年)

『親鸞聖人四幅御絵伝 絵解』(単著・方丈堂出版 2006年)

『明義進行集 - 影印・翻刻-』(共編・法蔵館 2001年)

『魚太平記 - 校本と研究-』(共編・勉誠社 1995年)

『古浄瑠璃正本集 角太夫編 第三』(共編・大学堂 1994年)

『古浄瑠璃正本集 加賀掾編 第五』(共編・大学堂 1993年)

その他

同 窓 通 信

漫画、真宗の生活観を出版して

2002年度・文学部真宗学科卒 こぼやかわ ぼんしん
小早川 凡親



昨年9月に蓬茨祖運原作の漫画「真宗の生活観」を出版しました。

幼い頃から絵や漫画を描く事が好きで、小学6年の時、手塚治虫の「ブッダ」を読んで、仏教に関心を持ち、いつかこんな漫画を描きたいと思っていました。その後、大谷大学で書道部に入部し、そこでは、古典の臨書を通し、過去の人に思い


を馳せる学びをしました。

今回の漫画の原作者、蓬茨祖運氏を知るきっかけとなったのは、卒業論文を手掛ける際に、大学の図書館で資料を探していると、蓬茨氏の著作が目にとまり、仏教への深い洞察に感銘を受けたことによります。地元へ戻ってからは、変わらず漫画を描くことが好きなため趣味で続けていましたが、何か一つ自分の学びのためにも、また、大学で学んだ真宗学の深さを表現するような漫画を作りたいと以前より思うようになりました。

そんな中、蓬茨祖運氏の著作集に「良子の宗教」という小説と「真宗の生活観」という1年間の月ごとの風物にそって、真宗の教えに触れていくという、全12話の

随想集があることを知りました。初めは小説風の「良子の宗教」を5年かけて漫画化することに取り組みました。その後、随想集の「真宗の生活観」もドラマチックな話もあり、漫画化したら面白いものになるのではと試みましたが、容易には作れず、何年も中断していました。けれど、私が「ブッダ」を読んで仏教に関心を持ったように、漫画を通して、真宗の教えに関心を抱く人が1人でもいればと、少しずつ制作していきました。「今の時代に仏教を漫画で、どう伝え、表現したら良いだろうか？」と先人、蓬茨祖運氏や親鸞聖人に思いを馳せながら、昨秋、彼岸の頃10年の歳月を経て、この度出版に至りました。今後も、これで筆を置くことなく大学の学びを生かすような漫画を描ければと思っております。





遺言 相続

本山・官公庁への書類作成

全国対応
できます



吉武学行政書士事務所

よしたけ まなぶ
吉武 学 (行政書士・真宗大谷派住職・相続診断士)

まずは気軽に「ご僧談」ください (初回相談1時間無料)

0740-20-9041 info@office-yoshitake.net
滋賀県高島市新旭町饗庭2483番地

ホームページはこちら

大谷大学真宗学科卒業の
お坊さん行政書士
滋賀県行政書士会所属 第22251357号

同窓会活動報告

2023 Alumni Activity Report

祝賀会写真はこちらをチェック!

大谷大学同窓会



◆ 2023年度「大谷大学公開講演会」開催報告

2023年7月～9月「大谷大学公開講演会」ならびに「支部総会」を全国69支部64会場で開催いたしました。

この講演会は、全国に80支部ある同窓会支部と大谷大学とが協働して講演会を開催するもので、同窓生・在学生はもとより広く一般市民にも公開され、地域社会の文化興隆に大きな役割を果たしています。

各支部では懇親会も開催され、地域での同窓生同士のつながりを深めておられました(2024年度の開催については、P.11をご確認ください)。



大分支部開催の様子



神奈川支部開催の様子



小樽支部開催の様子

◆ 「第25回ホームカミングデー」開催報告

「第25回ホームカミングデー」を学園祭期間中の2023年11月11日(土)に開催いたしました。

2019年度以降4年ぶりの開催となりましたが、当日は

◆ 2023年度

「卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」開催!

2024年3月15日(金)、2023年度「卒業証書ならびに学位記授与式」終了後の16時30分よりザ・プリンス京都宝ヶ池において、「卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」が開催されました。2023年度、同窓会は約700名の新入会員を迎えました。



新型コロナウイルス感染症の影響により、5年ぶりの祝賀会開催となりましたが、会の終盤での卒業・修了生、教職員有志による寮歌は大変な盛り上がりを見せていました。

4年に及ぶコロナ禍において、入学時より様々な制約のもと過ごしてきた学生生活の最終日、恩師や友人との語らいに時を忘れて楽しまれていました。



約160名の同窓生及び会友の皆様にご出席いただき、名誉教授やご退職になられた先生、現職の教員等約30名にもお越しいただき盛会裡に終えることができました(当日の様子は本誌裏面(P.24)をご確認ください)。



大谷大学指定推奨

大谷大学女子学生専用

プラーダ Otani

2021年3月築

大谷大学まで徒歩4分。
家具付きのシェアハウスです。



株式会社 **フラットエージェンシー** 本店営業部 TEL: 0120-75-0669

宅地建物取引業免許番号 京都府知事免許 (10) 第 7189 号
公益社団法人京都市宅地建物取引業協会会員 公益社団法人近畿地区不動産公正取引協議会加盟店 取引態様 (貸主)

2024年度の同窓会活動について

最新情報はこちらをチェック！

大谷大学同窓会



◆ 同窓会総会開催

2024年5月10日(金)に同窓会総会が開催され、以下の議案が承認されました。

議案 (1)2023年度事業報告及び収支決算報告

(2)大谷大学同窓会役員を選出について

(3)2024年度事業計画及び収支予算(案)

報告事項 (1)特定非営利活動法人尋源舎の活動について

(2)その他

2023年度大谷大学同窓会収支決算書

| 【収入の部】 | | 【支出の部】 | |
|--------------|------------|-----------------|------------|
| 科目 | (単位 円) 決算額 | 科目 | (単位 円) 決算額 |
| 1. 前年度繰越金 | 29,462,438 | 1. 事業費 | 10,360,056 |
| | | 本部事業費 | 4,072,605 |
| 2. 会費 | 21,714,000 | 支部事業助成費 | 3,455,100 |
| 会費(1) | 774,000 | 同期会・OB会等開催助成費 | 250,000 |
| 会費(2) | 20,940,000 | 学生会助成費 | 100,000 |
| 3. 入会金 | 3,490,000 | 新入会員歓迎費 | 2,482,351 |
| 4. 寄付金 | 1,258,000 | 2. 刊行費 | 1,936,381 |
| 5. 同窓会基金取崩収入 | 0 | 無盡燈刊行費 | 1,577,180 |
| 6. 雑収入 | 508,043 | 印刷製本費 | 359,201 |
| 7. 同窓会運用資金 | 25,000,000 | 3. 事務費 | 3,669,040 |
| | | 本部事務局費 | 79,692 |
| | | 活動費 | 380,000 |
| | | 通信費 | 3,209,348 |
| | | 4. 旅費 | 4,298,561 |
| | | 5. 会議費 | 652,684 |
| | | 6. 委託費 | 1,890,928 |
| | | 7. 雑費 | 216,878 |
| | | 8. 同窓会基金繰入支出 | 10,488 |
| | | 9. 同窓会活性化準備金 | 160,400 |
| | | 10. 同窓会運用資金繰入支出 | 25,000,000 |
| | | 11. 予備費 | 0 |
| 合計 | 81,432,481 | 合計 | 48,195,416 |

収入の部－支出の部＝33,237,065(次年度繰越金)

2024年度大谷大学同窓会収支予算書

| 【収入の部】 | | 【支出の部】 | |
|--------------|------------|-----------------|------------|
| 科目 | (単位 円) 予算額 | 科目 | (単位 円) 予算額 |
| 1. 前年度繰越金 | 33,237,065 | 1. 事業費 | 11,570,000 |
| | | 本部事業費 | 3,760,000 |
| 2. 会費 | 21,000,000 | 支部事業助成費 | 4,060,000 |
| 会費(1) | 900,000 | 同期会・OB会等開催助成費 | 700,000 |
| 会費(2) | 20,100,000 | 学生会助成費 | 200,000 |
| 3. 入会金 | 3,350,000 | 新入会員歓迎費 | 2,850,000 |
| 4. 寄付金 | 500,000 | 2. 刊行費 | 2,170,000 |
| 5. 同窓会基金取崩収入 | 0 | 無盡燈刊行費 | 1,635,000 |
| 6. 雑収入 | 520,935 | 印刷製本費 | 535,000 |
| 7. 同窓会運用資金 | 25,000,000 | 3. 事務費 | 4,062,000 |
| | | 本部事務局費 | 100,000 |
| | | 活動費 | 380,000 |
| | | 通信費 | 3,582,000 |
| | | 4. 旅費 | 5,160,000 |
| | | 5. 会議費 | 1,640,000 |
| | | 6. 委託費 | 2,160,000 |
| | | 7. 雑費 | 280,000 |
| | | 8. 同窓会基金繰入支出 | 20,520,000 |
| | | 9. 同窓会活性化準備金 | 1,000,000 |
| | | 10. 同窓会運用資金繰入支出 | 25,000,000 |
| | | 11. 予備費 | 10,046,000 |
| 合計 | 83,608,000 | 合計 | 83,608,000 |

◆ 2024年度役員一覧 (2024.5.10現在)

| | | | |
|------------|----------|------------|------------|
| 会長 佐賀枝 夏文 | 理事 奥村 豊 | 理事 和田 一丸 | 常務理事 宮崎 健司 |
| 副会長 加藤 隆昭 | 理事 菅原 信顕 | 監事 長谷岡 英信 | 常務理事 采 暉 晃 |
| 副会長 柴田 達也 | 理事 月輪 淳裕 | 監事 藤坂 初裕 | 常務理事 中島 弘喜 |
| 理事長 東館 紹見 | 理事 難波 明則 | 顧問 一 榮 真 | 理事 川端 泰幸 |
| 常務理事 井上 恵二 | 理事 藤原 憲 | 常務理事 平野 寿則 | |
| 常務理事 高木 文善 | 理事 本間 義悦 | 常務理事 柘植 至 | |
| 常務理事 日野 隆文 | 理事 村上 秀磨 | 常務理事 大秦 一浩 | |

◆ 全国各地での「大谷大学公開講演会」開催！

【大谷大学公開講演会】

2024年度も全国各地で「大谷大学公開講演会」を開催します。是非、ご参加ください。
大谷大学公開講演会の開催日時、会場等については同窓会ホームページをご確認ください。
また、天候等により、急遽、開催中止となる場合があります。その際もホームページにてお知らせいたします。

大谷大学公開講演会詳細

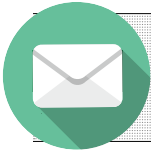


大谷大学同窓会HP

2024年7月上旬より、全国70カ所で開催！ 共通テーマ「学び、続ける。」

2024年度「大谷大学公開講演会」開催一覧 (76支部 70会場)

| 支部名 | 開催日程 | 講師 | 講題 |
|-------------|----------|--------------------|--|
| 函館 | 7月26日(金) | 名誉教授 藤 嶽 明 信 | 学び、続ける－仏教・真宗を通して－ |
| 小樽 | 7月25日(木) | 名誉教授 藤 嶽 明 信 | 学び、続ける－仏教・真宗を通して－ |
| 札幌 | 8月29日(木) | 准教授 コンウェイマイケルJ. | 「常に信の初一念に立つべし」 |
| 岩見沢 | 7月20日(土) | 教授 木 越 康 | Pure Land Buddhism に学ぶ |
| 旭川 | 7月4日(木) | 名誉教授 同窓会会長 佐賀枝 夏 文 | 学び、続ける－「人生に学ぶこと」を歩む道－ |
| 室蘭 | 7月27日(土) | 名誉教授 沙加戸 弘 | 求法無窮－親鸞聖人の御生涯に学ぶ－ |
| 深川 | 9月11日(水) | 准教授 藤 元 雅 文 | 学び、続ける。－親鸞聖人から問われていること－ |
| 十勝 | 7月7日(日) | 教授 富 岡 量 秀 | 「学び、続ける－こどもを育む「Be Real・ほんとうの」学びとは－ |
| 網走 | 7月5日(金) | 名誉教授 同窓会会長 佐賀枝 夏 文 | 学び、続ける－「人生に学ぶこと」を歩む道－ |
| 紋別 | 8月22日(木) | 教授 井 上 尚 実 | 学び、続ける－親鸞聖人の晩年における思想の深化 |
| 名寄 | 9月17日(火) | 教授 藤 枝 真 真 | 「学び、続ける。」－人口減少社会、変化する日本の宗教性－ |
| 釧路 | 9月3日(火) | 准教授 藤 原 正 寿 | 「学び、続ける。」－親鸞聖人からの問いかけ－ |
| 青森 | 9月9日(月) | 准教授 コンウェイマイケルJ. | 「常に信の初一念に立つべし」 |
| 岩手 | 8月23日(金) | 名誉教授 織 田 顕 祐 | 学び、続ける－佐々木月樵と大谷大学－ |
| 宮城 | 9月3日(火) | 教授 中 野 加 奈 子 | 貧困と孤立を考える－つながり合うために |
| 秋田 | 9月10日(木) | 准教授 コンウェイマイケルJ. | 「常に信の初一念に立つべし」 |
| 山形 | 8月1日(木) | 教授 井 上 尚 実 | 学び、続ける－親鸞聖人の晩年における思想の深化 |
| 福島 | 9月28日(土) | 教授 東 館 紹 見 | 学び、続ける人 親鸞－聖徳太子との出遇いを通して見えてくるもの－ |
| 茨城 | 9月29日(日) | 准教授 上 野 牧 生 | 学び、続ける－章提希とその兄、波斯匿王－ |
| 栃木 | 9月14日(土) | 准教授 川 端 泰 幸 | 学び、続ける 本願寺と戦国社会 |
| 群馬 | 9月12日(木) | 教授 宮 崎 健 司 | 聖徳太子像の形成 |
| 埼玉 | 9月14日(土) | 准教授 四 方 保 仁 | 「学び、続ける」 |
| 千葉 | 8月29日(木) | 准教授 上 野 牧 生 | 学び、続ける－章提希とその兄、波斯匿王－ |
| 東京 | 8月6日(火) | 教授 采 筆 晃 晃 | 「学び、続ける」力(ちから)－仏教者の姿から－ |
| 神奈川 | 8月5日(月) | 教授 采 筆 晃 晃 | 「学び、続ける」力(ちから)－仏教者の姿から－ |
| 山梨 | 9月1日(日) | 准教授 大 原 ゆ い | 家族を介護するケアラーとの出会いと学び |
| 信濃学友会 | 9月11日(水) | 学 長 一 榮 真 | 聞思して遅慮することなかれ |
| 三条 | 9月13日(金) | 准教授 川 端 泰 幸 | 学び、続ける 本願寺と戦国社会 |
| 上越 | 8月28日(水) | 名誉教授 門 脇 健 | 親鸞とお葬式 |
| 静岡 | 9月26日(月) | 教授 富 岡 量 秀 | 「学び、続ける－こどもを育む「Be Real・ほんとうの」学びとは－ |
| 三為 | 8月29日(木) | 教授 平 野 寿 則 | 「学び、続ける－東本願寺東照宮御霊殿考－」 |
| 尾張学友会 | 8月22日(木) | 准教授 藤 原 正 寿 | 「学び、続ける。」－親鸞聖人からの問いかけ－ |
| 三重 | 9月3日(火) | 教授 東 館 紹 見 | 学び、続ける人 親鸞－聖徳太子との出遇いを通して見えてくるもの－ |
| 大垣 | 9月12日(木) | 教授 東 館 紹 見 | 学び、続ける人 親鸞－聖徳太子との出遇いを通して見えてくるもの－ |
| 岐阜 | 8月23日(金) | 教授 木 越 康 | Pure Land Buddhism に学ぶ |
| 郡上 | 8月29日(木) | 教授 安 田 誠 人 | 「発達障がい」に関する学びを深める－発達障がいのある子どもの障がい理解とコミュニケーション支援方法－ |
| 飛騨 | 8月2日(金) | 准教授 藤 元 雅 文 | 学び、続ける。－親鸞聖人から問われていること－ |
| 富山 | 7月24日(水) | 名誉教授 同窓会会長 佐賀枝 夏 文 | 学び、続ける－「人生に学ぶこと」を歩む道－ |
| 高岡 | 中 止 | | |
| 金沢 | 8月6日(火) | 教授 富 岡 量 秀 | 「学び、続ける－こどもを育む「Be Real・ほんとうの」学びとは－ |
| 能登 | 調整中 | 教授 木 越 康 | 「寄りそう知性と仏教」 |
| 小松 | 8月20日(火) | 准教授 藤 元 雅 文 | 学び、続ける。－親鸞聖人から問われていること－ |
| 大聖寺 | 8月22日(木) | 教授 李 青 青 | 学び、続ける－グローバルに活躍する人物を目指して－ |
| 福井 | 9月13日(金) | 准教授 藤 原 正 寿 | 「学び、続ける。」－親鸞聖人からの問いかけ－ |
| 若狭 | 中 止 | | |
| 長浜 | 7月28日(日) | 学 長 一 榮 真 | 聞思して遅慮することなかれ |
| 湖東 | 8月31日(土) | 名誉教授 同窓会会長 佐賀枝 夏 文 | 学び、続ける－「人生に学ぶこと」を歩む道－ |
| 湖南 | 8月31日(土) | 名誉教授 沙加戸 弘 | 求法無窮にして真宗土着す－教えは暮らしとなり 風景となる－ |
| 湖西 | 9月1日(日) | 准教授 藤 元 雅 文 | 学び、続ける。－親鸞聖人から問われていること－ |
| 京都 | 8月25日(日) | 学 長 一 榮 真 | 聞思して遅慮することなかれ |
| 丹波 | 8月30日(金) | 教授 平 野 寿 則 | 「学び、続ける－東本願寺東照宮御霊殿考－」 |
| 丹後 | 中 止 | | |
| 大 阪 市 | 9月6日(金) | 教授 谷 口 奈 青 理 | 学び、続ける。－臨床心理学の立場から－ |
| 大 阪 東 南 | 9月28日(土) | 准教授 藤 原 正 寿 | 「学び、続ける。」－親鸞聖人からの問いかけ－ |
| 大 阪 南 | 7月26日(金) | 名誉教授 延 塚 知 道 | 「大経」と「教行信証」－特に後序をめぐって－ |
| 神 戸 神 和 歌 山 | 総会のみ | | |
| 奈良 | 8月20日(火) | 教授 田 中 久 美 子 | 「学び、続ける」 |
| 播磨 | 9月9日(月) | 講師 本 明 義 樹 | 「聞思」という学び |
| 鳥取 | 9月21日(土) | 教授 安 田 誠 人 | 「発達障がい」に関する学びを深める－発達障がいのある子どもの障がい理解とコミュニケーション支援方法－ |
| 島根 | 9月3日(火) | 教授 木 越 康 | Pure Land Buddhism に学ぶ |
| 岡山 | 9月3日(火) | 講師 本 明 義 樹 | 「聞思」という学び |
| 福山 | 9月6日(金) | 准教授 四 方 保 仁 | 「学び、続ける」 |
| 広島 | 8月29日(木) | 学 長 一 榮 真 | 聞思して遅慮することなかれ |
| 山口 | 7月23日(火) | 名誉教授 加 来 雄 之 | 真宗と相続 |
| 四国 | 9月2日(月) | 教授 井 上 尚 実 | 学び、続ける－親鸞聖人の晩年における思想の深化 |
| 福 岡 | 8月31日(土) | 教授 脇 中 洋 | 心理学を通じて、学び、続ける。 |
| 久 留 米 | 8月29日(木) | 教授 國 賀 由 美 子 | 東本願寺の画事と旧蔵の品々 |
| 佐 賀 | 8月30日(金) | 教授 國 賀 由 美 子 | 東本願寺の画事と旧蔵の品々 |
| 大 分 | 9月10日(火) | 講師 本 明 義 樹 | 「聞思」という学び |
| 北 九 州 | 8月29日(木) | 教授 山 本 和 彦 | ブツダに学び続ける |
| 長 崎 | 8月30日(金) | 教授 山 本 和 彦 | ブツダに学び続ける |
| 熊 本 | 9月2日(月) | 教授 木 越 康 | Pure Land Buddhism に学ぶ |
| 宮 崎 | 8月27日(火) | 教授 酒 井 恵 光 | 「伝える」ための情報技術 |
| 鹿 児 島 | 8月22日(木) | 名誉教授 加 来 雄 之 | 真宗と相続 |
| 韓国同窓会 | 未 定 | | |



同窓会支部だより



福山支部について

前福山支部長 ふじま ゆうじゆん
藤間 祐淳

「福山」という地名をご存じの方は大阪以東にはあまりおられないのではないかと思います。福山市は広島県最東部の街で人口約46万人とされています。県庁のある広島市は広島県のほぼ西の端にあります。昔から広島文化圏と福山文化圏は一つではありません。まず気候が違います。広島は雨、風、雪が福山よりかなり多く、福山は一年を通じて雨が少なく、いたるところに灌漑用のため池が見られます。福山の街では雪もほとんど積もりません。晴れの国備前、備中に続く備後の国です。新幹線と山陽自動車道が開通するまでは県庁に行くまで約3時間を要していました。言葉もかなり異なり福山地方は岡山弁が混じっています。同窓会本部から広島支部を設立するように要請された時、広島市との交流があまり行われていないのでぜひとも福山にも支部を作りたいとお願いをして現在に至っています。現在は谷大の同窓生は福山支部だけで230数名を数えています。主な支部の活動は夏

に行われる公開講演会です。真宗大谷派の組織では福山地方は山陽教区備後組となり21ヶ寺が存在し実態があるのは19ヶ寺です。公開講演会ではその備後組の御門徒の方々、各寺の住職やその家族など大体30名から50名が聴講に来られます。したがって講師の先生もできるだけ真宗学や仏教学の先生をお願いしています。同時に総会、講師の先生を囲んで懇親会を開き大学を懐かしく思い出しています。

風光明媚な瀬戸内の福山に皆様ぜひおいでください。



2023年度公開講演会（福山支部）の様子



大谷大学同窓会上越支部

上越支部 事務局 よこた ちから
横田 力

上越支部は新潟県の上越市、妙高市、糸魚川市、十日町市の同窓生約220名で構成されていて、その活動の歴史は古く、大正の時代から同窓生が集っていたと伝えられています。現在に続く支部活動の形は、昭和21年ころに夏季休暇中に帰省される金子大栄先生に講義をしていただくために同窓生が集まったところから始まったと聞いています。当支部の活動の原点がそこにありますので、総会と懇親会だけの開催はだめで、必ず講義を受けなければならないという伝統が根付いています。コロナ禍で2年間巡回講演が中止になりましたが、その際は上越教育大学にお願いして宗教学の講義を受け同窓会を開催しました。同窓会活動においても学問に重きを置く姿勢が、当地において他大学関係者から母校が高く評価される所以と感じています。

近年当地からの母校への進学者が減少傾向にあり、若い世代の同窓生が少なくなっていますが、各地区役員の声掛けにより徐々に若い世代の総会出席者が増えてきて年齢の幅は60年以上になっています。貴重な世代間交流の場ですので、一昨年からは大先輩から当時の大学や京都についてお話をさせていただき、時代を超えた体験の共有を図っています。今後は女性会員と在学生の皆さんの参加を増やして同窓会活動をさらに発展させていきたいと考えています。



2023年度公開講演会（上越支部）の様子

「カッパ」の問題

大谷大学教授 ^{いのうえ たかみ} 井上 尚実



2003年に大谷大学真宗学科の教員となる御縁をいただいて、あっという間に20年以上が過ぎてしまいました。私はもともと仏教学の専攻で、1989年から2年間、小川一乗先生の修士ゼミで大乗仏教の根本思想をもとに浄土教を学び、1991年3月に修士課程を修了して大谷派教師になりました。その後、本山から奨学金をいただいてカリフォルニア大学サンタバーバラ校大学院に進み、英語圏で発展していた宗教学(Religious Studies)を学ぶ貴重な機会を得ました。1999年に帰国し、懐かしい聞思館1階の東方仏教徒協会(通称EBS)事務所で、英文仏教雑誌The Eastern Buddhistの編集の仕事に携わることになりました。当時、一郷正道先生がEBSの事務局長をされており、EBSで働きながら非常勤で短期大学部仏教科の英語の授業も担当させていただき、やがて真宗学科の専任講師に採用していただくという御縁にも恵まれたのです。

私は大谷派寺院の出身で親鸞聖人の教えを学んでおりましたが、真宗学専攻ではなかったため、教員になって最初の数年間は学生さん達と一緒に真宗学の基礎を一から習う必要がありました。毎日の授業の準備にとっても苦労したのを覚えております。『親鸞教学』に研究論文を発表するのも大仕事でした。テーマの設定から書き方にいたるまで、仏教学や宗教学とは異なる長い学問の伝統があるので、真宗学の博士課程を出ていない自分には無理なのではないかと途方に暮れることもありました。

少しずつ道が開けてきたと感じたのは2010年頃だったと思います。前年に大谷大学で開かれた日本印度学仏教学会大会の特別部会「親鸞研究の可能性」における発表がきっかけでした。積尊の時代の仏教と親鸞聖人の浄土真宗は、根本において通底しており、文脈を重視した聖教の解釈によってそれを示すことができることに気づいたのです。最古の経集『スッタニパータ』の中に、親鸞の「信の仏教」・「ただ念仏」の原型が見出されるのです。自力の「はからい」を意味する「カッパ」(パーリ語 kappa、サンスクリット語kalpa)という言葉に、重要な解釈の鍵があります。積尊は「カッパ」を捨てる道を説かれたのであり、親鸞聖人はその道を「現生正定聚」「自然法爾」という念仏者の生き方として示されたのです。いかなる時代においても、人間の苦悩の根本には「カッパ」の問題があるのだと思います。それを少しでも明らかにできるように学びを続けています。

現役教員からのお便り

今を生きる力

大谷大学教授 ^{みやざき けんじ} 宮崎 健司



大学の門をたたいてから45年、教員としても30年がすぎた今、時の流れの早さを実感しています。奉職した頃、短期大学部国文科が300名定員の文化学科に改組され、文学部にも180名定員の国際文化学科が設置されるなど、大学は大きく変わりつつあり、一時学生数も5000名規模に達しました。当初、文化学科クラス30名前後と史学科(現歴史学科)古代史ゼミ20名前後を担当していたいへん苦労しましたが、とりわけ文化学科の卒業研究は、地域・時代・分野など多岐にわたり、その指導に四苦八苦したのを覚えています。その一方で多様な問題に少しは気配りができるようになり、研究関心もひろがったように思います。いいかえれば、学生諸君に教員・研究者として育ててもらったようなものかと思えますし、今日もゼミで学ぶことは数多くあります。

ところで今さらながら時の流れの早さを感じるのは、これまで重ねた馬齢に気づかず、毎年、同年代の学生諸君と一緒に学んできたためなのでしょう。また授業を通して伝えたいことが一貫していたからかもしれません。歴史学では根拠となる史資料を大切にします。史資料がどの程度信用できるのか、どうすれば信用しうのかなど徹底的に吟味し、そこから得られた史実を多角的な視点で分析し歴史を叙述します。学生諸君の4年間の学びでも、史資料を見極め、分析するスキルや視点を身に付け、その集大成として卒業論文を制作するわけですが、そのスキルや視点が「今を生きる力」として有効であることを感じ取って巣立ってほしいと願っています。現在はさまざまな情報が溢れかえっています。そこには偽の情報も多く含まれます。近年は特にAI技術の進展によりさまざまな利点をもたらされる一方、悪意に満ちた偽の情報が巧妙に紛れ込んでいるかと思えます。このような時代を生きて行くには何が真実かを見極めることがもっとも大切なことだと考えます。残りわずかな教員生活の中で歴史学の学びを通して少しでも学生諸君にその思いが伝わればと願いつつ教壇に立っています。

CAMPUS TOPICS

キャンパストピックス

最新情報はこちらをチェック！

大谷大学



◆ 名誉教授の称号贈られる

このたび、大谷大学名誉教授称号授与規程に基づき、大谷大学の教育上、また学術上、特に功績のあった先生に贈られる名誉教授の称号が2名の先生に贈られました。授与式は2024年4月1日に学長室において行われました。 (総務課)



望月 謙二 名誉教授
(国語科教育学)



渡辺 啓真 名誉教授
(倫理学)

◆ 課程博士の学位を授与

2023年度は、博士後期課程修了者1名に「博士(文学)」の学位が授与されました。 (教務課)



向田 泰真氏 (仏教学)

◆ 長浜教区花まつり子ども大会に大谷大学が参加

2024年5月3日(金・祝)に長浜別院大通寺で開催された「長浜教区花まつり子ども大会」に大谷大学が参加しました。同窓会長浜支部協力のもと、児童文化研究会の学生が人形劇やパネルシアターを行い、同窓会長浜支部がスーパーボールすくいやバルーンアートを行うなど、多くの子どもたちに盛況でした。

また、「大谷大学情報コーナー」を設置し、入学センター職員による大学広報誌等の配付や進学相談、大谷大学のコンセプトムービーをご覧いただくなど、当該地域の方へ大谷大学を知っていただく好機となりました。

(校友センター)



◆ 総合研究室がリニューアルオープン

2001年に竣工された真宗総合学術センター(響流館)の一施設として開室した総合研究室が、全面改修を経て、2024年9月中旬にリニューアルオープンします。



新しい総合研究室は、4つの研究室(第1研究室～第4研究室)と中央エリア等からなっており、全域にわたって学部学科専攻を問わずすべての学生が利用できます。西側にあるブリッジを使ってさまざまな学習支援施設を備えた慶聞館とのあいだを自由に行き来することができ、また、室内中央にある階段を使って図書館と行き来することもできます。

助教が常駐する各研究室には専門分野の図書が配架され、設置されているプリンターとコピー機はすべての学生が利用可能です。総合研究室はこれまで以上に、教員と学生(大学院生と学部生)が自身の専門分野の研究を深め、さらに分野を越えた交流を深めることができることを願って改修します。

(教育研究支援課)



◆ 大学人事情報 ◆

(2023年5月1日～2024年4月30日)

執行部の交代

【学監・副学長】

平野 寿則 (再任)

【教育・学生支援担当副学長 兼文学部長】

大秦 一浩 (再任)

【学生部長】

上野 牧生

【入学センター長】

西本 祐攝

【教育学部長】

西村 美紀

【大学院人文学研究科長】

福島 栄寿

2024年4月1日付 (各通)

館長等の交代

【図書館長】

中川 眞二 (再任)

【博物館長】

宮崎 健司 (再任)

【学寮長】

藤原 正寿

2024年4月1日付 (各通)

附属幼稚園長の交代

【幼稚園長】

緒方 知子 2024年4月1日付

定年退職

【教育職員】

望月 謙二 (教授/教育学部)

渡辺 啓真 (教授/文学部)

谷 哲弥 (准教授/教育学部)

2024年3月31日付 (各通)

契約期間満了による退職

【教育職員】

市川 郁子 (特別契約教授/教育学部)

川北 典子 (特別契約教授/教育学部)

許 燕華 (任期制助教/文学部)

齋藤 雅哉 (任期制助教/文学部)

中西麻一子 (任期制助教/文学部)

平田 絵未 (任期制助教/文学部)

深町 博史 (任期制助教/文学部)

【事務系嘱託】

石橋 鮎 (教育研究支援部)

窪 浩子 (教育研究支援部)

米谷 真結 (総務部)

塩見 優樹 (学生支援部)

田中 美有 (企画・入試部)

富田 早紀 (企画・入試部)

内藤 唯 (教育研究支援部)

中島 香代 (学生支援部)

長谷川朋子 (学生支援部)

【学生相談員】

讓 西賢

【寮監】

株山 遊 (貫練学寮)

【学習支援アドバイザー】

栗村亜寿香

田原 理恵

寺井 伸子

任 雅楠

【PD 研究員 (真宗総合研究所東京分室)】

陳 宣聿

2024年3月31日付 (各通)

退職

【教育職員】

鈴木 真太郎 (任期制助教/文学部)

2023年8月31日付

【事務系嘱託】

加納 瑤実 (学生支援部)

中村かおり (教育研究支援部)

2023年6月30日付 (各通)

鹿子木あゆみ (企画・入試部)

2023年9月30日付

近藤 実咲 (学生支援部)

2023年12月31日付

能田 桂 (教育研究支援部)

2024年2月12日付

新規採用

【教育職員】

内田 祐貴 (准教授/教育学部)

浜崎 由紀 (准教授/教育学部)

吉田 雅昭 (准教授/教育学部)

根無 一行 (講師/文学部)

松金 直美 (講師/文学部)

山崎 弥生

(特別契約准教授/教育学部)

大川ヘナン (任期制助教/社会学部)

温 秋穎 (任期制助教/国際学部)

松田 祥平 (任期制助教/文学部)

向田 泰真 (任期制助教/文学部)

渡辺 拓也 (任期制助教/社会学部)

【事務職員】

醍醐 真央 (教育研究支援部)

田中 夢太 (学生支援部)

【事務系嘱託】

大島 彩香 (学生支援部)

梶 理恵子 (学生支援部)

北村 尚美 (企画・入試部)

小林 千紗 (学生支援部)

小林 史江 (企画・入試部)

澤田真美翔 (企画・入試部)

中上ゆかり (学生支援部)

牧野 弥生 (教育研究支援部)

【学生相談員】

上寺 恵美

【寮監】

藤永 樹心 (貫練学寮)

【学習支援アドバイザー】

國永 孟

丹上麻里江

花房ともえ

深町 博史

【PD 研究員 (真宗総合研究所東京分室)】

高橋 泉

藤井 麻央

2024年4月1日付 (各通)

昇格

【教授】

スミザース ライアン W. (国際学部)

中野加奈子 (社会学部)

【准教授】

後藤 晴子 (社会学部)

2024年4月1日付 (各通)

同窓会支部長・支部事務局交代 (2023年5月12日以降、2024年5月10日現在掌握分)

○支部長交代

〈札幌支部長〉

吉田 敦史 2023.07.03付就任 (前支部長 曾我 皆達)

〈釧根支部長〉

進藤 眞 2023.07.20付就任 (前支部長 朝日 英明)

〈小樽支部長〉

榎溪 一裕 2023.07.24付就任 (前支部長 河合 芳邦)

〈福岡支部長〉

國友 正文 2023.09.02付就任 (前支部長 轡水 良夫)

〈金沢支部長〉

森田 憲代 2023.09.06付就任 (前支部長 木越 涉)

〈静岡県支部長〉

曾我 一洋 2023.09.09付就任 (前支部長 佐々木文雄)

〈信濃学友会支部長〉

佐々木一男 2024.01.01付就任 (前支部長 成田 詮)

〈宮崎支部長〉

阿野 大道 2024.01.01付就任 (前支部長 香春 有門)

〈青森支部長〉

本田 雅章 2024.04.01付就任 (前支部長 高名 和丸)

〈岩手支部長〉

桜田 正憲 2024.04.01付就任 (前支部長 藤原 善継)

〈小樽支部長〉

河野 教明 2024.04.01付就任 (前支部長 藤間 祐淳)

○支部事務局就任・交代

〈札幌支部事務局〉 熊澤 覚 2023.07.01付就任

〈小樽支部事務局〉 秦 秀円 2023.07.24付就任

〈金沢支部事務局〉

谷 涼雅 2023.09.06付就任 (前支部事務局 坂本 学)

〈尾張学友会支部事務局〉

梶村 英正 2023.09.14付就任 (前支部事務局 廣瀬 彰紀)

〈青森支部事務局〉

本間 義敦 2024.04.01付就任 (前支部事務局 東 康文)



宮川 清司先生を偲んで

2023年11月2日に宮川清司先生がご逝去されました。享年80歳でした。宮川先生は京都大学文学部英文科を卒業され、株式会社日本交通公社(現株式会社JTB)にお勤めになられた後、再び学問の世界に戻られました。大阪教育大学大学院で英語教育、大阪大学大学院文学研究科で英文学を専攻され、1982年に大阪薬科大学専任講師となりました。その後大阪大学言語文化学部教授、奈良女子大学文学部教授を経て、2006年に本学に教授として着任されました。定年を迎えられた後も特別任用教授として2013年まで本学の教育にご尽力いただきました。

先生のご専門はイギリス・ロマン派の詩で、特にウィリアム・ワーズワスの作品を中心にご研究をなされ、多くの論文・著作を発表してこられました。本学在任中の2007年には『自然とヴィジョンの詩学—ワーズワス、コールリッジ、エリオット—』を上梓されました。この著作には、テキストを分析的に読むことに基礎を置いた、先生の実直な研究に対する姿勢がよく表れています。

先生とは同じ文学科英文学コースでゼミを担当していたため、お話する機会も多く、いろいろなことを教えていただきました。豊かな学識と経験をお持ちの先生のお話はいつも面白く、興味深いものでした。先生は穏やかなお人柄で、大変優しい口調で話されるのですが、その言葉の端々に学問と教育に対する熱い思いがこもっていて、大学教員の在るべき姿を見せられているように感じたのを覚えています。学生たちも、大いに刺激を受けていたのではないかと思います。ご一緒に仕事をさせていただけたことに心より感謝申し上げます。 大谷大学教授 浅若 裕彦



大和 正克先生を偲んで

2024(令和6)年2月4日に大和正克先生がご逝去されました。大和先生は商事会社に勤務された後、龍谷大学文学部に入学されました。卒業後は児童福祉施設山ノ内母子寮(現、野菊荘)に入職。その後、西院保育所施設長・山ノ内学童保育施設長を経て、1999(平成11)年より大谷大学短期大学部教授、2001(平成13)年より同学部特別任用教授として2006(平成18)年3月まで本学の教育にご尽力いただきました。その間、児童福祉施設の現職中に龍谷大学大学院研究科修士課程を修了されるというまさに児童福祉現場出身のレジェンドでありました。

突然の訃報の約半年前、奥様からスマートレターが届きました。同封された出版物は、大和正克著『日本固有の子育て・子育て文化の再構築～1人ひとりのいのちのあゆみを支える～』でありました。奥様曰く、晩年はおだやかで「鬼の大和」から「猫の大和」になったそうで、奥様が大和先生に代わって出版されたそうです。

唐突ですが、わたしの研究室に3冊の大和先生の本があります。前出の1冊、『人垣～いのちの連帯を求めて～(「大和正克先生退職記念の集い」事務局編)』、『社会福祉援助の基底(大和正克著)』です。

この出版物を拠り所に、先達としての大和先生の信念や想いの語り部として、私の教員生活を続けたいと思います。大和先生から徳岡先生、そしてわたしへと児童福祉施設現場からの大谷大学教員としての櫛は繋がっています。多くの出会いや機会を与您にいただいたことに心より感謝申し上げます。 大谷大学准教授 木塚 勝豊

同窓会費の 納入について (協力ご依頼)

同窓会は、同窓の皆さまにご納入いただく「**同窓会費(終身会費と年会費)**」と「**寄付金**」を活動資金として事業を行っています。同窓会活動にご理解とご支援を賜り、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

<会員区分について>

卒業年度により「**会員区分**」が異なります。ご自身の会員区分をご確認いただき、「同窓会費(終身会費と年会費)」または「**寄付金**」のご納入をお願いいたします。

なお、同窓会報『無盡燈』の宛名ラベルに所属の会員区分が記載されています。

| | 会員区分 | ご依頼内容 |
|------|---|--|
| 一般会員 | ①1990年度以前の卒業・修了生のうち、「終身会員」ではない方 | 【A】毎年、「 年会費 3,000円 」を納入する。 【B】「 終身会費 30,000円 」を納入し、終身会員に変更する。 |
| | 同封の振込取扱票(振込手数料無料※)を使用し、右記の【A】【B】のいずれかの方法により、 会費納入 をお願いいたします。 | 振込取扱票を使用されない場合は、以下の口座に振込をお願いいたします。 <同窓会費専用 振替口座(ゆうちょ銀行)> 口座番号 01020-9-20542 加入者名 大谷大学同窓会本部 |
| 終身会員 | ①1990年度以前の卒業・修了生のうち、「 終身会費 30,000円 」を納入した方 ②1991年度以降の卒業・修了生のうち、卒業・修了年度の学費納入時、「 終身会費30,000円 」を納入した方 | 同封の振込取扱票(振込手数料無料)をご利用いただき、寄付金の納入に、ご協力をお願いいたします。 |

()内は最終卒業・修了年度(敬称略)
年月日はご逝去された日付
(逝去日・五十音順)

敬弔 ご生前のご功労を偲び、謹んで
哀悼の意を表します。

※同窓会本部 2024年3月31日現在
掌握分

| | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 上田 祐邦 大学部 (1952) 2015.01.25 | 籾 信雄 修士 (1957) 2023.04.29 | 種村 俊洋 文学部 (1964) 2023.09.05 |
| 清原 研一 文学部 (1989) 2022.06.20 | 春末 禪 文学部 (1965) 2023.05.09 | 照岡 淳 大学部 (1949) 2023.09.06 |
| 筒井 学 文学部 (1985) 2022.07.20 | 高橋 弘次 修士 (1960) 2023.05.20 | 三木 孝樹 文学部 (1971) 2023.09.12 |
| 石神 淳 文学部 (1986) 2022.08.22 | 合田 和広 文学部 (1983) 2023.05.22 | 冨田 英見 修士 (1997) 2023.09.14 |
| 高木 憲了 短期 (1954) 2022.10.05 | 二俣 和聖 文学部 (1963) 2023.05.22 | 楠 義景 文学部 (1990) 2023.09.23 |
| 生駒 広円 短期 (1956) 2022.10.12 | 千羽 仁 修士 (1977) 2023.05.24 | 河野 通芳 大専門 (1949) 2023.09.25 |
| 緒方 法弘 短期 (1961) 2022.10.21 | 熊谷 宗致 文学部 (1956) 2023.05.25 | 佐藤 紀 文学部 (1960) 2023.09.25 |
| 福岡 弘宣 文学部 (1959) 2022.11.21 | 矢木 学 文学部 (1973) 2023.05.27 | 吉原 至尚 短期 (1983) 2023.10.20 |
| 藤井 一道 短期 (1952) 2023.01.08 | 木村 毅 大学部 (1954) 2023.05.28 | 飯川 雅史 短期 (1970) 2023.10.26 |
| 時本 孝 文学部 (1956) 2023.01.26 | 藤懿 祛磨 文学部 (1966) 2023.05.28 | 宮川 清司 会友 (-) 2023.11.02 |
| 相川 和明 大専門 (1947) 2023.01.27 | 發知 正美 大学部 (1954) 2023.06.11 | 護 崑 大学部 (1947) 2023.11.04 |
| 竹林 賢敞 文学部 (1958) 2023.01.27 | 武田 義 文学部 (1970) 2023.06.12 | 東護 博 修士 (1963) 2023.11.09 |
| 林 正文 修士 (1997) 2023.02.15 | 調 和晃磨 修士 (1971) 2023.06.13 | 河尻 恵雄 文学部 (1953) 2023.11.12 |
| 井上 幸明 文学部 (1973) 2023.02.16 | 萬沢不二雄 大学部 (1946) 2023.06.26 | 松村 公雄 文学部 (1972) 2023.11.13 |
| 多田 孝圓 文学部 (1963) 2023.02.21 | 河合 哲玄 文学部 (1958) 2023.07.03 | 鷲尾 公雄 文学部 (1954) 2023.11.25 |
| 長屋 英雄 文学部 (1956) 2023.02.27 | 北方 匡 文学部 (1959) 2023.07.05 | 長谷 東洋 文学部 (1964) 2023.12.02 |
| 木村 力 大学部 (1947) 2023.02.28 | 前田 清昭 修士 (1968) 2023.07.14 | 小谷 暁 文学部 (1963) 2023.12.05 |
| 正親 恒信 修士 (1977) 2023.03.05 | 平田 紘英 文学部 (1962) 2023.07.16 | 今西 満 修士 (2001) 2023.12.08 |
| 月足 彰 修士 (1976) 2023.03.12 | 江村 昭雄 大学部 (1952) 2023.07.24 | 漣 専 修士 (1963) 2023.12.26 |
| 長澤 豊磨 大学部 (1952) 2023.03.14 | 小山 英真 短期 (1985) 2023.07.26 | 佐々木 賢 文学部 (1968) 2024.01.06 |
| 九頭竜 紀 大学部 (1953) 2023.03.22 | 白江 成 短期 (1955) 2023.07.27 | 織田 昇 文学部 (1964) 2024.01.23 |
| 中里 宣紹 文学部 (1967) 2023.03.27 | 青木 正圓 文学部 (1961) 2023.08.01 | 大和 正克 会友 (-) 2024.02.04 |
| 千代 唯澄 文学部 (1956) 2023.04.04 | 西藤 勝信 文学部 (1965) 2023.08.19 | 堀 恵成 文学部 (1973) 2024.02.08 |
| 今村 節子 短期 (1973) 2023.04.06 | 築山 昇道 文学部 (1962) 2023.08.19 | 霜田千代磨 修士 (1970) 2024.02.14 |
| 藤嶽 大安 文学部 (1971) 2023.04.06 | 延塚 淳子 文学部 (1971) 2023.08.21 | 熊谷 宗恵 修士 (1961) 2024.03.19 |
| 谷 広子 短期 (1972) 2023.04.24 | 北原 了義 文学部 (1956) 2023.08.24 | |
| 平尾 深廣 文学部 (1961) 2023.04.27 | 滋賀 俊正 文学部 (1984) 2023.08.27 | |

大谷大学同窓会の発展にご尽力賜りました元役員・支部長のご逝去について、謹んでご報告申し上げます。

| | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 林 正文氏 < 2003年~2006年 岩手支部長 > | 長谷 東洋氏 < 2009年~2017年 大阪東支部長 > |
| 木村 毅氏 < 1987年~2010年 播磨支部長 > | 籾 信雄氏 < 1997年~2003年 鳥取支部長 > |
| 北方 匡氏 < 1994年~2004年 金沢支部長 > | 發知 正美氏 < 2003年~2009年 岡山支部長 > |
| 1997年~2003年 理事 > | 西藤 勝信氏 < 1992年~2011年 宮崎支部長 > |
| 北原 了義氏 < 1993年~2004年 監事 > | 東護 博氏 < 1994年~1997年 三条支部長 > |
| 2007年~2014年 副会長 > | 霜田千代磨氏 < 2003年~2017年 岩見沢支部長 > |

ご結婚おめでとうございます

幸せなご家庭を築かれることを念じ申し上げます。

()内は最終卒業・修了年度(敬称略) ※同窓会本部 2024年3月31日現在 掌握分 順不同

| | | |
|---------------|---|---------------|
| 竹部 俊樹 (2004文) | ♥ | 鶴野未果子 |
| 石川 龍海 | ♥ | 中 麻 (2015文) |
| 木越 遥 (2014文) | ♥ | 久米ゆめ乃 (2020文) |

※大谷大学尋源講堂での仏前結婚式をお受けしています。お問い合わせは、大谷大学総務課 (TEL 075-411-8163) まで。

同期会 / OB・OG会 開催報告

2023年2月～2024年2月末までに行われた各団体の行事を紹介しています。

開催報告のコメント等、詳細は同窓会ホームページをご覧ください。

*ホームページでは写真を拡大してご覧いただけます。

<http://www.mujiinto-otani.org/activity/kokuti.html>



2023.02.04

混声合唱団OB・OG総会



2023.04.12

育英学寮1968年入寮生同期会



2023.06.28

男声合唱団OB会



2023.06.22

下鴨学寮同期会 1972-1975年度入寮生同期会



2023.05.24

柔道部OB・OG会



2023.07.22

貫練学寮・自灯学寮合同同期会



2023.07.22

大谷大学体育会同窓会



2023.07.26

四学寮+尾州寮合同同期会



2023.08.05

バスケットボール部OB・OG会



2023.09.06

短期大学部幼児教育科第7期生同期会



2023.09.09

貫練学寮第12期同期会



2023.09.13

短期大学部仏教科(昭和43年卒)同期会



2023.09.19

寺川俊昭先生三回忌法要・懇親会



2023.10.05

知真学寮第一期生同期会



2023.10.11

1968年入学雲井昭善クラス「雲の糸」同期会



2023.10.28

2001年卒業藤島建樹ゼミ同期会



2023.11.11

剣道部OB・OG会



2023.11.27

小川ゼミOB・OG会



2023.12.04

昭和47年度 洗心学寮入寮生同期会



2024.02.03

知真学寮第10期生同期会



2024.02.10

2013年度文学部仏教学科織田ゼミ同窓会



2024.02.11

学部史学科東洋史学分野藤島ゼミ
1987-1989年卒業生合同同期会



2024.02.17

令和6年卓球部OB・OG会



2024.02.20

写真部OB・OG会(昭和44年-47年)



2024.02.23

大谷大学アメリカ民謡研究部同窓会



2024.02.24

2020年卒業福島栄寿ゼミ同期会





同期会、OB・OG会の受付について

同期会、OB・OG会開催にあたり、同窓会本部では以下のサポートを行っています。開催の際はぜひご連絡ください。
(以下のサポートは、対象者すべての方への案内(例:ゼミ全員に案内)が条件となります。)

Support 1 大学施設の利用・見学ができます。

- 学内施設または湖西キャンパスセミナーハウスで開催ができます。
 - 学内施設の見学も可能です。
- ※希望される場合は、日程等を決定する前に、同窓会本部へご相談ください。

Support 2 連絡用名簿・宛名ラベルの提供ができます。 ※申請書受付後、提供までに10日～2週間程かかります。

Support 3 ホームページ「無盡燈」に開催告知を掲載します。

Support 4 開催の補助を行います。

- 通信費の一部として補助(1万円/2024年6月現在)を行っています。一定の条件がありますので、詳細は同窓会本部までお問い合わせください。

Support 5 写真を掲載し、同窓会ホームページ「無盡燈」には、開催報告(写真およびコメント)の掲載をします。

開催スケジュール

- ① おおよその開催日・開催場所を決定。
↓
- ② 同窓会本部へTELまたはメールで連絡。
★ 幹事名、「同期会開催届」の送付先、名簿・宛名ラベルの必要有無を連絡してください。
↓
- ③ 「同期会開催届」を開催1ヵ月前までに提出。
★ 同期会、OB・OG会では、対象者すべての方に案内(例:ゼミ全員、OB・OG全員に案内)を行ってください。
↓
- ④ 開催補助(1万円)を幹事へ送付(現金書留)。
↓
- ⑤ 開催当日
★ 開催報告用に、集合写真を撮影してください。
↓
- ⑥ 開催後、1ヵ月以内に同窓会報『無盡燈』掲載用の「集合写真」、「コメント(200文字以内)」を同窓会本部へ提出。

<お問合せ先>

大谷大学同窓会本部 (大谷大学校友センター内)

開室時間 9:00～17:00 (11:30～12:30 土・日・祝除く)

TEL 075-411-8124 FAX 075-411-8157 E-mail kouyu@sec.otani.ac.jp

広 告
募 集

同窓会報『無盡燈』 広告掲載について

およそ40,000人(2024年4月現在)の同窓生に向けて、お店の紹介などの広告を掲載しませんか。掲載枠の種類は以下のとおりです。

- 2枠(タテ60mm×ヨコ180mm) 50,000円(税込)
- 1枠(タテ60mm×ヨコ90mm) 30,000円(税込)

※掲載ページの指定はできません。

自由に楽しみつつ、結果を追い求めて

部活紹介

陸上競技部



大谷大学陸上競技部です。現在、少ない人数ではありますが、一人ひとりが自分に足りない課題に向き合い、限られた時間の中で練習に励んでいます。また、陸上経験がない人も複数人が所属しており、それぞれのペースで掲げた目標を達成するために部員同士で切磋琢磨しながら日々の練習に取り組んでいます。

練習は主に大谷大学内のトレーニング室で月・水曜日17時～19時、金曜日は西京極陸上競技場や湖西キャンパスグラウンドで週2～3日行っています。活動の中心は2年・4年生で

あり、大会に向けて各自高い意識を持ち、自主練習を大切にしている部活動でもあります。

また、部員が出場した記録会や大会などの結果情報はX(旧Twitter)にて発信していますので、是非、そちらの方もご覧いただけたら幸いです。

最後に、ご卒部されたOB・OGの皆様が大会に観に来てくださり応援していただいていること、大変嬉しく思っています。ありがとうございます。これからも大谷大学陸上競技部を宜しくお願い致します。

大谷大学陸上競技部
【公式】X



陸上競技部 中西 連

高校生必見

2024 オープンキャンパス



7.15 MON

8.3 SAT

8.4 SUN

8.25 SUN

平日オープンキャンパス

※開催時間等の詳細は大学 Web サイトをご覧ください。

在学生在が授業を受けている様子など、リアルな学生生活が見れる！

9.22 SUN

12.8 SUN

2025.

3.23 SUN

大学紹介

個別相談

学び紹介

キャンパスツアー

学生座談会



● 小論文型入試セミナー

…各種小論文型入試を考えている方必見！小論文の基本、文章の要約・意見論述等についてお話しします。

● 公募推薦入試【小論文型】実践講座

…模擬試験の後、本学教員による解説を行います。実際の試験に備えるための強力なバックアップとなるイベントです！

申込み

事前申込みいただくと
当日受付がスムーズです

保護者の方のみも大歓迎！※同伴者の申し込みは不要です



入試対策講座

9/22(日) 公募制推薦入試対策

12/8(日) 一般入試対策

有名予備学校講師および本学教員が解説を行います



ラジオで大谷大学の情報を発信中！

本学修了生の谷ロキヨコさんがDJを務めるFM大阪の人気番組「LOVE FLAP」で、大谷大学のコーナー「大谷大学KYOTO FLAP」が放送されています。

スマホアプリで
聴取可能！



FM大阪の放送エリアの方は
生放送の聴取が可能です。



放送翌日の火曜日に配信。全国どこ
からでも1年間聴取可能です。

教育振興資金寄付者（敬称略）【2023年4月1日～2024年3月31日】

大谷大学では、教育研究環境の一層の充実を図るため、「教育振興資金局」を設置し、募金活動を行っています。ご寄付いただいた資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

2023年4月1日から2024年3月31日までの間に、ご寄付をいただきました方々は次のとおりです。

また、本学では引き続き募金活動を行っています。ご寄付の方法につきましては、大谷大学ホームページをご確認ください。今後とも、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

2023年4月1日～2024年3月31日
寄付者総数 60件
寄付金総額 5,936,230円

個人
赤羽根 聡（宮城県） 浅田 純（長崎県） 白井 文昭（岐阜県） 宇多 良子（山口県） 宇野誠一郎（京都府）
岡村 隆（山口県） 加賀手良雄（愛知県） 片田 武（和歌山県） 川瀬 裕也（滋賀県） 川本 雅士（奈良県）
木野 勝之（京都府） 末永 弘暢（長崎県） 田中 仁（京都府） 力石 智（愛媛県） 鶴 禮子（滋賀県）
中尾都史子（大阪府） 難波 明則（大阪府） 蓮岡 隆章（島根県） 藤室 佳克（石川県） 本多佐保美（千葉県）
松田 憲周（高知県） 松濤 志道（福岡県） 三保谷 順（愛知県） 宮崎 真澄（京都府） 山崎 顕量（富山県）
匿名 26件

法人・団体
京都大谷クラブ 代表者 細川 信元（京都府）
NPO 法人尋源舎（京都府）
有限会社石間企画事務所 代表取締役 石間 裕（東京都）
長谷川体育施設株式会社 関西支店 執行役員支店長 川村 直樹（大阪府）
西光寺 橋本 唯彰（茨城県）
證大寺 井上 城治（東京都）
徳善寺 加賀 手良雄（愛知県）
明蓮寺（兵庫県）
匿名 1件

〈本寄付は学校法人真宗大谷学園に対する寄付であり、税法上の優遇措置を受けることができます。〉

【寄付のお申し込み／お問い合わせ先】 **大谷大学教育振興資金事務局**

京都市北区小山上総町（大谷大学校友センター内） TEL 075-411-8124

大谷大学寄付



学生たちは様々な場所で活動しています
地域と連携した14プロジェクト

**ふるさと納税の使い道
返礼品の受け取り**

寄付額の一部が学生の社会貢献活動の費用として活用されます。
返礼品を選び、寄付金の使い道を「大谷大学」に指定をお願いいたします。

お問合せ先

●大谷大学の地域連携活動について
大谷大学地域連携室
TEL. 075-411-8015



●京都市ふるさと納税について
京都市コールセンター
TEL. 050-3146-8897



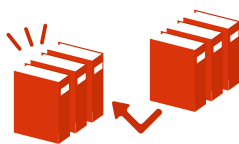
さとふる・ふるさとチョイス など、京都市掲載サイトからお手続きください

京都市ふるさと納税特設サイト

OTANI 古本 Project

ヒロガル×ツナガル 学生支援

OTANI UNIVERSITY USED BOOK DONATIONS



2018年6月から2024年3月までに4,611冊(128,136円分)の本をお送りいただきました。誠にありがとうございます。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

このプロジェクトは、読み終えた本、不要になった本(DVD・CD・ゲームを含む)を寄付することで、寄付された書籍は、社会へ還元され、いただいた寄付金は、大谷大学在学学生が選ぶ大学図書(学生選書プロジェクト)の本の購入費用となる寄付事業です。

古本は、郵送または大学図書館設置の回収ボックスで回収可能です。この機会にぜひ、「OTANI古本 Project」にご協力ください。



どのような仕組みですか？

古本を寄付
同窓生のみなさま



古本の集荷・仕分け・買取
株式会社バリュートックス



大学図書購入費用等へ



手続きの方法は？

- ①2010年以降に出版された書籍が確認する。(※2010年より以前の書籍は「おためし査定」をする。)
- ②書籍をダンボールに入れる。
- ③WEBで集荷を依頼する(※5冊以上であれば送料無料です)。
- ④査定結果についてご本人に報告(買取金額が大学へ寄付されます)。

おためし査定はこちら→



右記の本は取り扱いませ
るのでご了承ください。

● ISBNのない本



ISBN978-4-1234-5678-9

- 百科事典
- コンビニコミック
- 個人出版の本
- マンガ雑誌
- 一般雑誌
- 2010年より以前に出版された本

※「おためし査定」で査定額が出るものはご寄付いただけます。

お申込みに関する
ご注意

買取額は市場価値等を考慮して(株)バリュートックスにて査定されます。買取額は需要と供給によって決まるため、ご自身が大切にされている本であっても、残念ながら低額となることや、値段がつかないこともございます。お申込みに際しては、その点をご理解くださいますようお願いいたします。

詳しくは WEBをご覧ください。

▶ 大谷大学古本募金

お問合せ先

大谷大学教育振興資金事務局(大谷大学校友センター内) TEL: 075-411-8124

表紙絵 「天災の風景」部分

30cm×41.5cm 2022年作

今年(2022年)は元日早々能登半島の大地震、正月気分は一気に吹き飛びました。同級生や親しい友人たちのいる能登。どうしても出来ない自分に、今もずっと考えています。翌日は羽田の航空機事故。天災には逆らえず、どうしてもありませんが、人災は防げます。釈尊は「よく気をつけ注意しながら生きなさい」と申されています。せめて人災の無いようにしたいものです。

2月に入ってまたインドへ行ってきました。その前のインド行からまだ3か月も経っていませんでしたが、後がない、今しか無理だと思ひ、出来るだけのことを済ませてきました。インドは大変な数の車とバイクで、どこも、道を横断することさえも命懸けです。気をつけて行動しないと必ずといってよいほど事故になります。

世界的に気候も変化し、暖かかったり寒かった

り、暑かったり大雨が続いたり異常な気象となっています。インドの雨季の終わりの頃の雨の降り方は本当に瀧のようで、一日も続けば大洪水となります。高温で多湿なこの時期はカビが一晩で大きく生え、病気も流行しやすくなり、雨安居が必要なことがわかります。

この度の能登の人々のことを思うといたたまれない気持ちです。せめて被災者の心に寄り添う人間でいたい。「我が身に置き換えて」と思って生きるしかありません。災害はいつ起こるかわかりません。生きさせていただくこと自体が有難いと思ひ、自分の出来る仕事を怠ることなくやっていくしかありません。仏教徒として、人として考える試練を与えられています。

畠中 光享(1970年度文学部卒)

日本画家 インド美術研究者

卒業後も大学を利用しよう！ 卒業後も、大学で利用できるサービスがあります。

🏠 ご住所の変更連絡

同窓会本部では、同窓会員の住所・氏名を管理しています。会報誌、同期会等各種郵送物の宛先となりますので、氏名・住所に変更がある場合は、同窓会本部へご連絡または、以下のメールフォームをご利用ください。

大谷大学ホームページ 会員の住所変更
<https://www.otani.ac.jp/kouyuu/nab3mq000005lgd2.html>



📄 各種証明書の申込み

証明書等の発行については、お電話または窓口で申し込むことができます。発行には手数料が必要となります。詳細は大学ホームページをご確認ください。



▶ 大谷大学各種証明書 🔍

👰 ご結婚のお知らせ

同窓会員がご結婚される際には、同窓会より祝電をお送りします。また、同窓会報『無盡燈』にてご結婚のご報告をさせていただきますので同窓会本部(TEL: 075-411-8124)へご一報ください。

📖 図書館・博物館のご利用

同窓生は、大谷大学の図書館、博物館(特別展無料)を利用することができます。ただし、図書館の利用には、利用証申請手続きが必要です。詳細については、大学ホームページをご確認ください。

▶ 大谷大学図書館 🔍

▶ 大谷大学博物館 🔍

大谷大学内で仏前結婚式

大谷大学の尋源館2階にある尋源講堂で、仏前結婚式を行うことができます。

尋源館は登録有形文化財として登録されています。思いつきの大学での結婚式をお考えの際は相談ください。

▶ 仏前結婚式の問合せ先

大谷大学総務課 TEL: 075-411-8163



◆ 第26回ホームカミングデー開催！(予定) 日時：2024年11月9日(土)午後

※要申し込み。詳細は9月1日更新の同窓会ホームページをご確認ください(職域同窓会も開催予定)。



2024年6月14日発行

発行 大谷大学同窓会本部

編集 『無盡燈』編集委員会

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学校友センター内

TEL (075)411-8124 FAX (075)411-8157

E-mail: kouyu@sec.otani.ac.jp

同窓会ホームページ <http://www.mu-jinto-otani.org/>

『無盡燈』の題字について 親鸞聖人の真蹟の坂東本『教行信証』から集字したものです。『維摩経』に「無盡燈というのは、譬えば一つの燈をもって百千の燈をともしようなものである。冥やみがみな明るくなるが、その明りはついになくなることがない。…説かれた教えのとおりにもずから一切の善いことがらを増しふやす。これを無盡燈となづける」とあり、先輩がともし続けた伝統に輝く燈の名に恥じないことが願われています。

ホームページ「無盡燈」毎月1回更新！

▶ 大谷大学同窓会 🔍



ホームページやSNSでは、同窓会の活動や同窓生の活躍、母校「大谷大学」の現況などの情報をタイムリーに発信しています！